

横財財 第102号  
令和2年(2020年)11月4日

横須賀市議会  
新型コロナウイルス感染症対策検討協議会  
委員長 大野 忠之 様

横須賀市長 上地 克明

新型コロナウイルスへの対策等に関する要望・確認事項について

令和2年(2020年)10月8日付「新型コロナウイルスへの対策等に関する要望・確認事項について」に係る要望等事項について、別紙のとおり回答いたします。

No	要望等事項	対象部局等	回答	前回 No	資料	番号
1	<p>再び学校閉鎖となった場合、プリントだけではなく、オンライン授業が必要と考えられるが、以下について本市の考えを確認したい。</p> <p>1. 現時点でオンライン授業の体制整備はどのような予定となっているのか。  2. オンライン授業は動画配信を考えているのか。  3. オンライン化には端末・通信環境の整備や教員の研修が必要だが、特にオンラインを使ったモデル授業の普及を考えているのか。  4. オンライン授業の動画配信を行う場合、いわゆるスーパー先生の授業によって密度の高い、効率的授業のモデルを教員や児童生徒全体で共有していくのか。</p>	教育委員会	<p>【1 現時点でのオンライン授業の体制整備の予定について】</p> <p>通信環境などのハード面については、GIGAスクールによる高速インターネット回線の整備が中学校では今年度中に、小学校では来年度中に整備する予定としています。それまでの間にオンライン授業が必要になった場合のために、本年11月までに、各学校にPC端末とモバイルWi-Fiルーターを1台ずつ整備する予定です。</p> <p>学習コンテンツなどのソフト面については、現在、教育委員会が高校進学を控える中学校三年生用の授業動画から順次作成しています。今後は、学年ごと、教科ごとにコンテンツを増やし、年間を通じていつでも対応できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>【2 オンライン授業は動画配信を考えているのかについて】</p> <p>オンライン授業は、授業の動画を作り、オンデマンド配信する方法を考えています。</p> <p>今後、児童生徒や教職員が新型コロナウイルスに感染した場合や濃厚接触者となった場合、入院や2週間程度の自宅待機を求められます。</p> <p>こうした場合には、同一学級の児童生徒の中で入院している者と自宅待機している者があつたり、教員が入院や濃厚接触者となって授業ができなくなる場合があつたりなど、同時双方向型のオンライン授業の実施が難しい状況になります。</p> <p>そこで、あらかじめ授業動画を用意しておくことで、教員が授業をできなくなっても児童生徒はオンラインで授業を受けることができ、入院していた児童生徒が、退院後に同じ授業動画で勉強することができます。実際に、入院したり濃厚接触者となり自宅待機となった児童生徒に対して、授業等の様子をタブレットPCで録画し、各家庭に届けて授業を補完する試行も行っています。</p> <p>【3 オンラインを使ったモデル授業の普及について】</p> <p>動画配信のコンテンツは、教育委員会に所属する各教科担当の指導主事が中心となり、授業動画の作成に取り組んでおり、今後は、コンテンツの充実を図るための組織体制を構築し、対応する教科や内容を充実させていく予定です。</p> <p>作成した授業動画は、端末・通信環境の整備に伴う教員研修を通して広く周知するとともに、教員の授業改善の研修で活用できないか検討します。</p> <p>【4 いわゆるスーパー先生の授業の共有について】</p> <p>教育委員会では、授業における指導力に長けた教員を「教科指導員」に任命して、指導主事とともに教員研修の講師を担っていただいております。</p> <p>こうして作成した動画は、臨時休校時に各学校で活用するだけでなく、平常時の授業で活用したり、教員の研修会で活用したりすることができないか、今後検討します。</p> <p>※ 新たな組織の必要性について検討しています。</p>	新	②	71